



※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲警告…組立て・取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

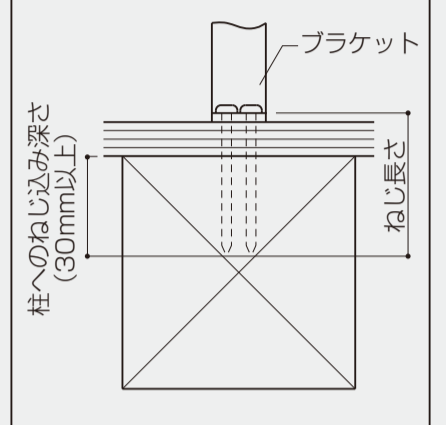
▲注意…組立て・取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。

- ・当製品は木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- ・ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
- ・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
- ・壁厚が30mm以上の場合は、厚壁用のねじを使用してください。
- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじ類を、指定の数量使用してください。
- ・外壁のバカ穴は、柱まであけないでください。
- ・花台の積載荷重が1.8mあたり60kgを超えないようにしてください。
- ・躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ6のねじにはφ4.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- ・手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

■柱へのねじ込み深さ



▲注意

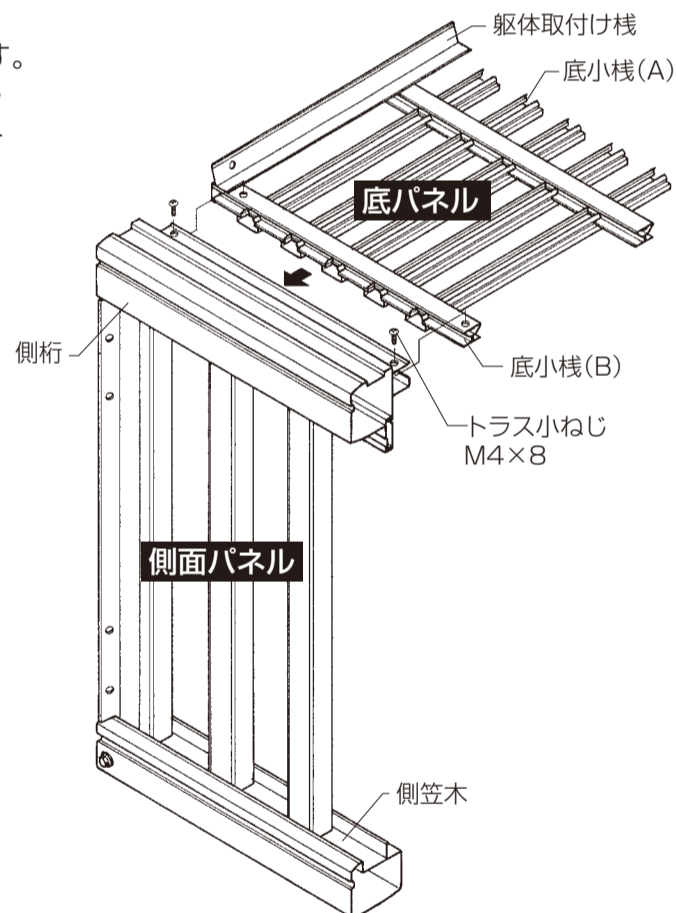
●ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。

■組立て方法

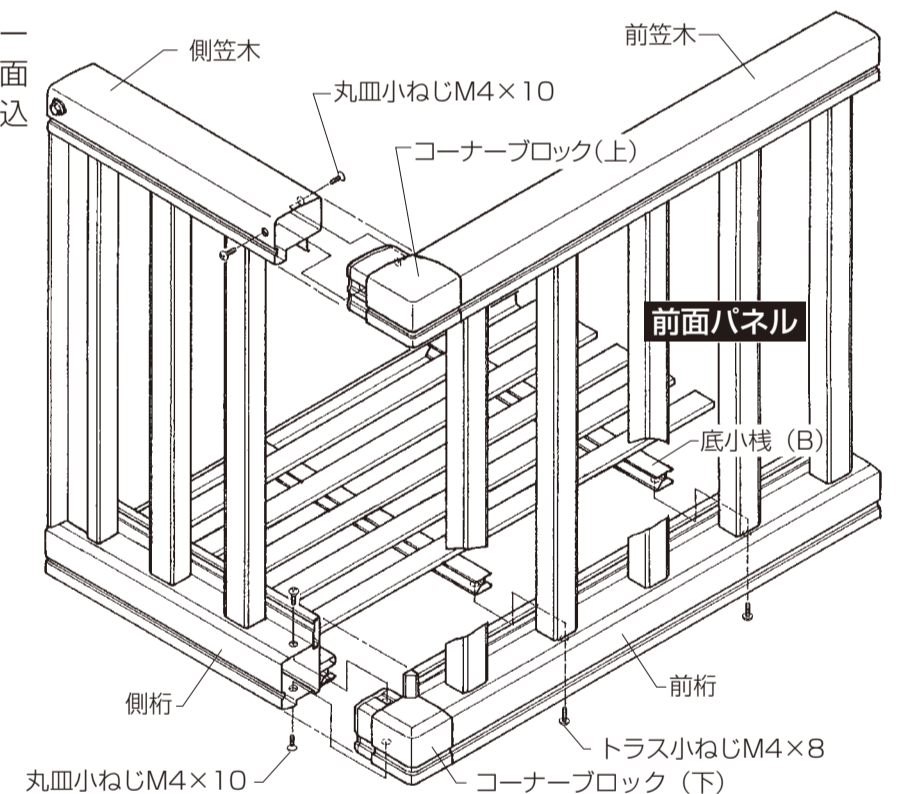
〔たて格子タイプ〕

※組立て後、躯体に取付けます。

①側面パネルの笠木を下にして底パネルを桁に差し込みねじ止めします。



②底小棧Bを前桁に、コーナーブロック上・下を側面パネルに、それぞれ差し込みねじ止めします。

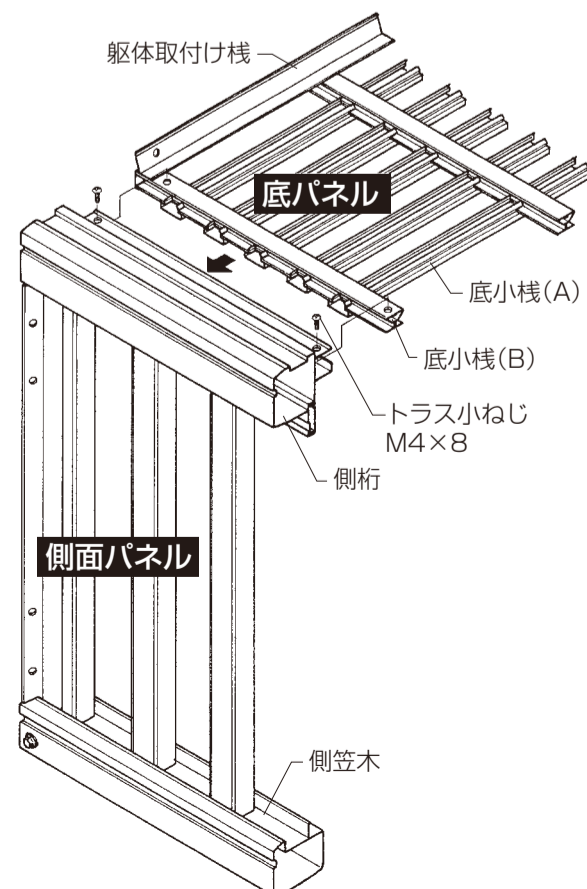


〔ヒシクロス・井桁タイプ〕

※組立て後、躯体に取付けます。

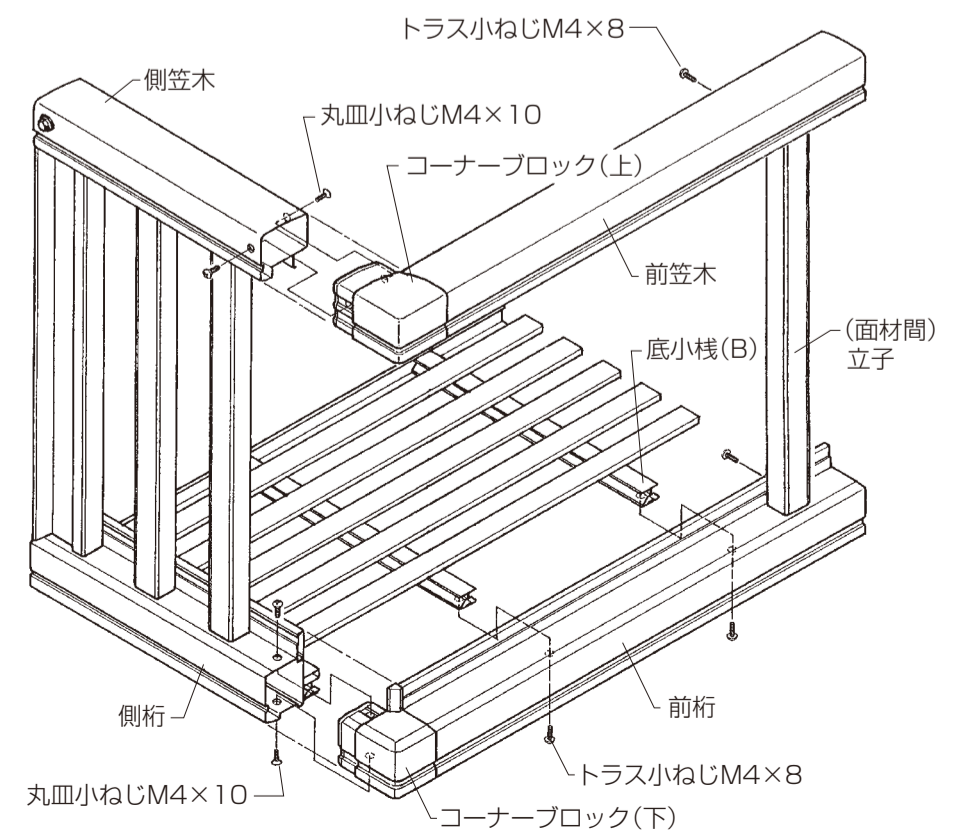
※パネルは、躯体に取付けた後から取付けることもできます。この場合、手すり本体の直角を正確に出して躯体に取付けてください。(直角が正確に出ていないとパネルが取り付けられない事があります。)

①側面パネルの笠木を下にして底パネルを桁に差し込みねじ止めします。

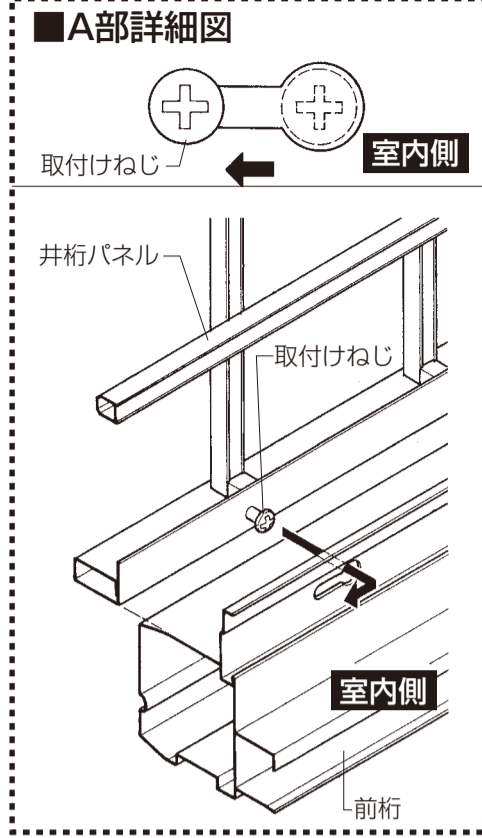
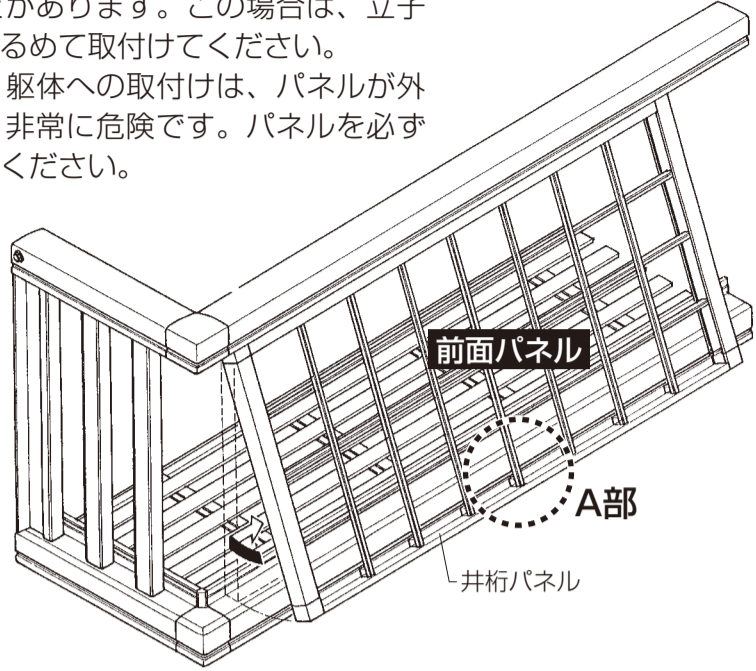


②底小棧Bを前桁に、コーナーブロック上・下を側面パネルに、それぞれ差し込みねじ止めします。

※関西間及び特注品の場合は、面材間又は両端に立子を取付けます。

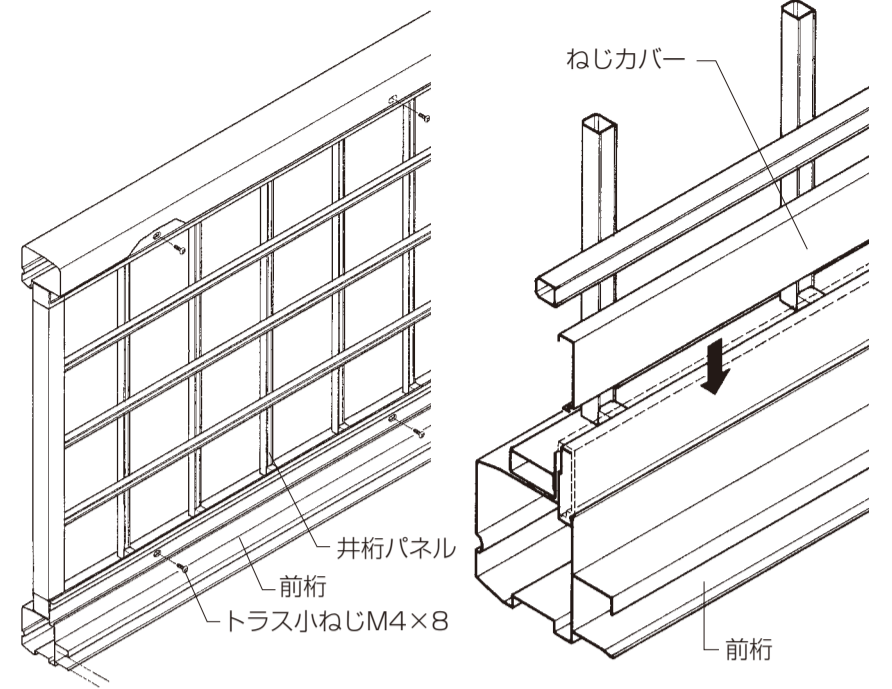


③面材パネルに付いているねじ頭が、前桁の○状の穴に入るようにパネルをケンドン式に建て込みます。次に室内側から見て左方向にスライドさせて、手すり本体とパネルのねじ穴を合わせます。
 ※関西間及び特注品の場合、面材間の立子の組立て方により面材の取付け穴と前桁の穴がズレることがあります。この場合は、立子のねじをいったんゆるめて取付けてください。
 ※この状態での運搬・躯体への取付けは、パネルが外れるおそれがあり、非常に危険です。パネルを必ず固定してから行ってください。



④パネル1枚につき、4本のねじで固定します。

⑤最後にねじカバーを桁にはめ込みます。

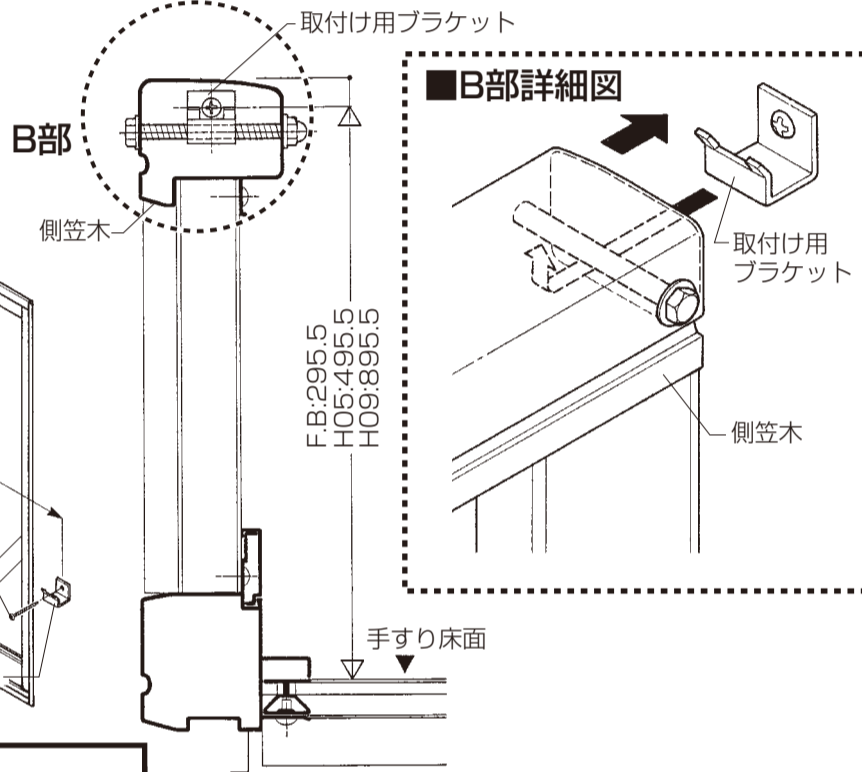
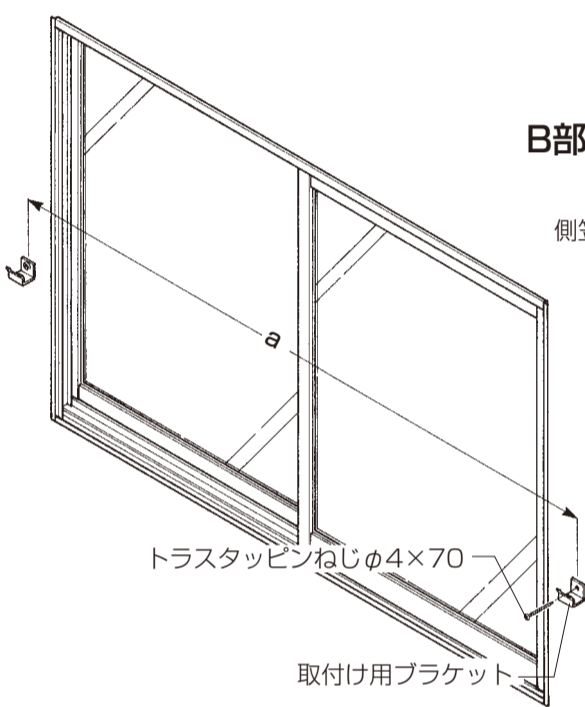


■取付け順序

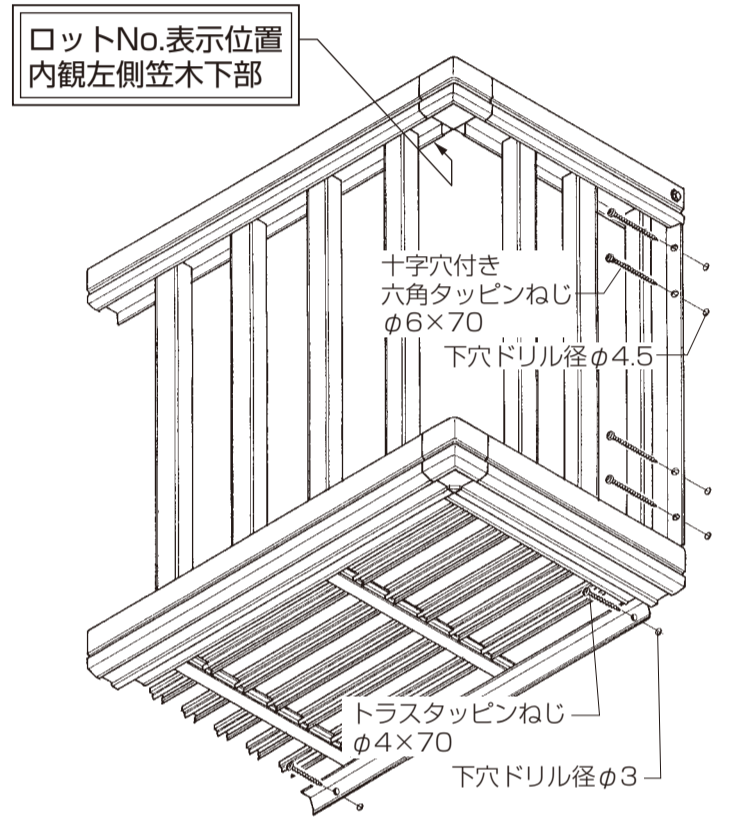
①手すり本体の取付け位置を決め、躯体に下穴をあけます。コーキング材を充てんした後、取付け用ブラケットをトラスタッピンねじφ4×70で取付けます。(位置出しは、右表を参考にしてください。)

②手すり本体を取付け用ブラケットに引っ掛けます。その際、確実に引っ掛かっていることを確認してください。
 ※この取付け用ブラケットは、あくまで仮固定用のものです。この状態で放置すると非常に危険ですので、ただちに本固定してください。

③各ねじ穴位置に下穴をあけ、コーキング材を充てんした後、付属のねじで確実に固定します。



	呼称W	a(mm)
関東間	074	945
	119	1400
	165	1855
	256	2765
関西間	083	1020
	133	1520
	180	1995
	186	2050
九州・四国間	281	3000
	080	985
	128	1460
	176	1945
204	270	2895
	069	940
	114	1395
	160	1850
特注	243	2656
	W-60	



▲注意

●必ずシーリング処理をしてください。

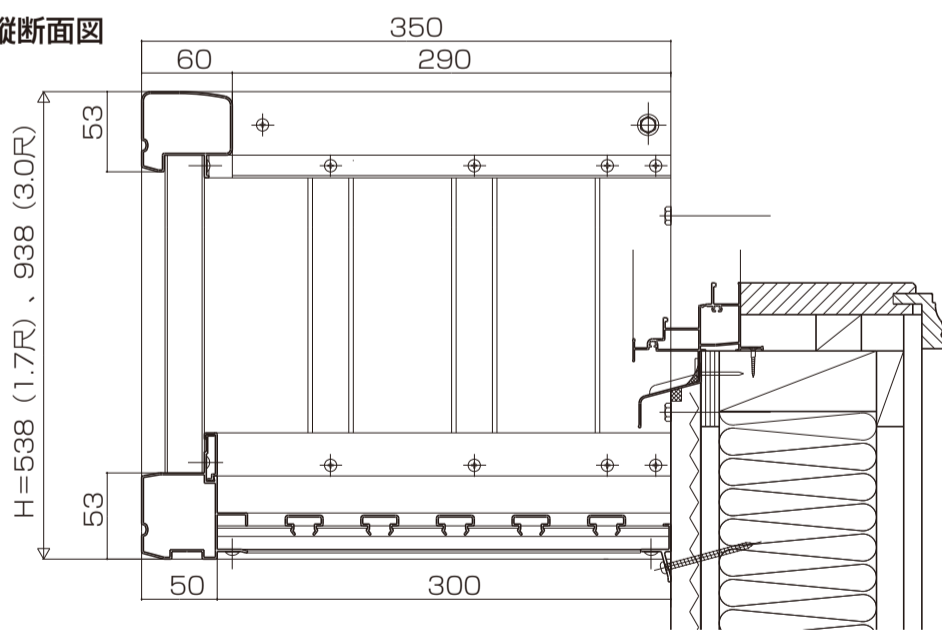
▲注意

●必ずシーリング処理をしてください。

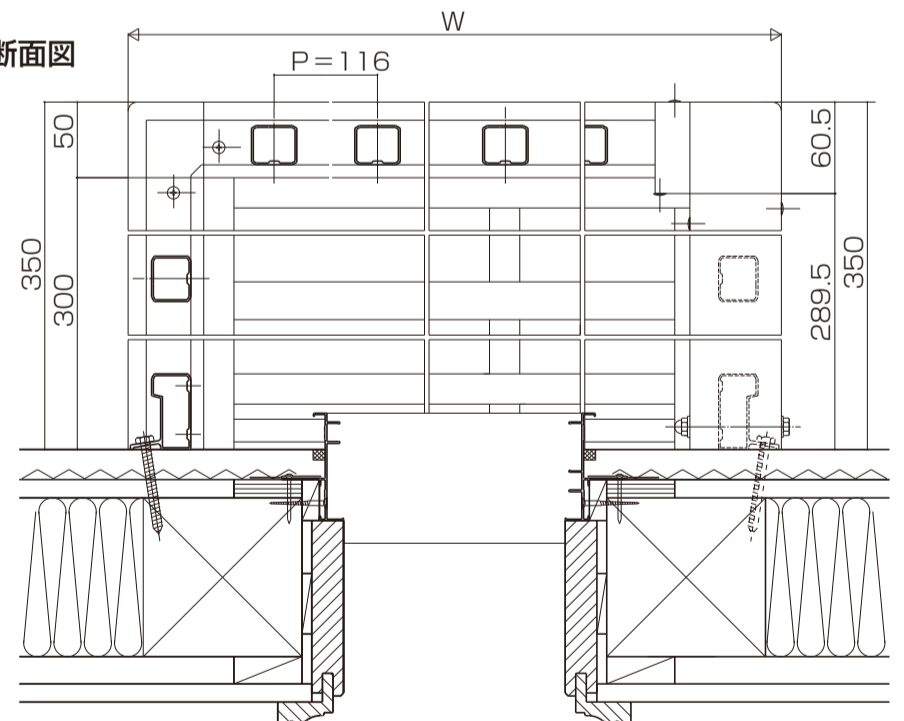
■参考納まり図

〔たて格子タイプ〕

●縦断面図

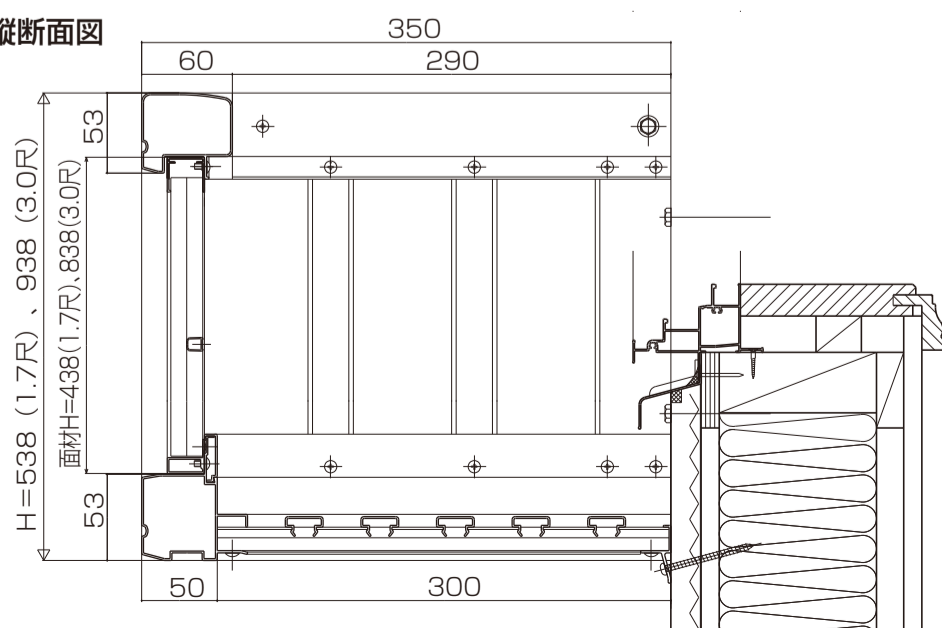


●横断面図



〔ヒシクロス・井桁タイプ〕

●縦断面図



●横断面図

